

2009年6月

出逢いの場所へ



神戸 → 永沢寺 菖蒲園 日帰りの旅

夫が見えない敵と戦っている。末期の癌だ。久しく行っていない旅行。妻は夫の行きたいと思っている所に行きたい。夫は妻自身が行きたい所に連れて行ってあげたい。一緒に旅行に行きたいという2人の共通の思いから、私たちに連絡をくださった。

お話を進めていく中で、妻は「お父さんと高野山に行きたい。お父さん、行きたいと言っていたから」と私たちに伝えてきた。神戸から高野山は休憩を十分にとって行けば、約半日必要になる。

夫は「永沢寺しょうぶ園に行きたい」と私たちに伝えてきた。30年ほど前に見た菖蒲が忘れられないと、妻が菖蒲の季節になる度に話すからだ。

お互いがお互いを思う気持ち。長い間連れ添ってきた二人にしか理解できない愛情を感じる。数回に渡り話し合った結果、夫の体力を考慮して永沢寺しょうぶ園、そして、有馬富士の麓にある公園に行くことになった。話を聞いていくうちに、二人の出逢いの場所が、有馬富士が見える病院だったということがわかったからだ。当時、生死の間をさまよう状態だった二人は病院の中で出逢い、入院生活の後、結ばれたのだった。

体調がよくないため、あまり話さない夫。ただ、喜んで花を楽しむ妻の姿を見て微笑む。普段、食事制限もあり食欲もないが、今日に限っては天ざる蕎麦やわらび餅を全て食べた。妻に心配をかけないように、頑張っているように見えた。

帰り際に寄った有馬富士。山の周りの雰囲気は大きく変わったが、山の形は変わっていない。山を長い間見つめる夫。初めて私たちに妻との写真を撮ってほしいとお願いしてきた。

この場所には、この二人しか知らない思い出がいっぱい詰まっているのだろう。

この山が見える病院で、二人は出逢い、どんな気持ちでこの山を見つめていたのだろう。

短い旅行だったが、何十年も前にタイムスリップしたような旅行になった。

旅から一週間後、夫は入院。
それから一週間後、静かに息を引き取った。

久しぶりに奥さんに会いに行き、一緒に食事に行った時、「小倉さん、最後にお父さんと一緒に旅行に行けて良かった、ありがとう」と言ってくださいました。



担当者コメント

二人の思い出の中にしゃらく旅倶楽部を関わらせてくださって、こちらこそありがとうございます。

介護度 要介護 1
年齢 79 歳
行先 兵庫県三田市
同行 エスコートヘルパー 1 名



時間

9:45

10:00

11:15

14:15

14:45

16:00

17:00

行程

エスコートヘルパーがお出迎え

ご自宅を出発

永沢寺しょうぶ園に到着

菖蒲鑑賞

水無月亭でご昼食

散策

永沢寺しょうぶ園を出発

有馬富士公園に到着

有馬富士がよく見えるスポットへ

有馬富士公園を出発

ご自宅に到着